

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年1月4日

【2017年12月23日～2017年12月29日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対米ドル、対円で上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。

年金改革法案を巡る政治情勢につきましては、ブラジル連邦議会が休会期間に入っていることもあって目立った材料はなく、テメル大統領がクリスマスのテレビ演説で、改めて同法案への支持を国民に呼びかけたのみにとどまりました。

また、大手格付け会社がブラジルの格付け変更について何らかの決定を行うとの観測がありましたが、2017年12月29日(現地、以下同様)時点までに発表は行われませんでした。年金改革について追加的な懸念材料が出なかったことが好感され、ブラジル金融市場では債券・為替ともに堅調な推移となりました。

経済指標では雇用関連の統計が発表され、市場予想に反して雇用者数が減少しました。これを受けてノゲイラ労働相が辞任しましたが、低調な雇用創出への引責よりも、大統領選出馬をにらんでの辞任という意味合いが強い模様です。なお、後任にはノゲイラ氏と同じブラジル労働党(PTB)出身のペドロ・フェルナンデス氏が就任する予定です。

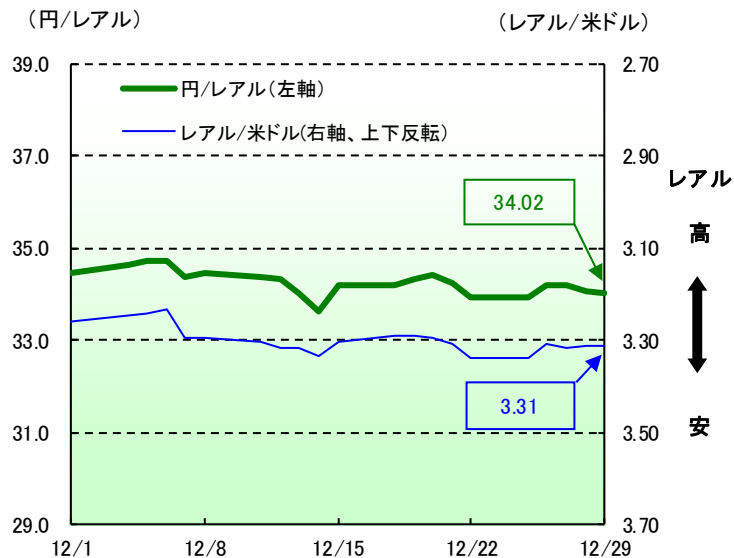
【2】今週の見通し

議会が休会期間であることや重要な経済指標の発表が予定されていないことから、今週のブラジル金融市場は動意の乏しい展開が続くと想定していますが、引き続き大手格付け会社による格下げの有無には注意が必要と考えています。年金改革法案については、2018年1月4日にマイア下院議長とメイレス財務相が同法案の採決について何らかの協議を行う予定です。

また、1月24日にルラ元大統領の控訴審が開かれる予定となっています。汚職や資金洗浄などの罪に問われている同氏は、次期大統領選挙の候補者のうち現時点で最も高い支持率を獲得していますが、裁判で有罪判決が出た場合は立候補が不可能となる可能性があります。大統領選の行方を大きく左右する材料として、この裁判に関連する報道には注目が集まります。

【ブラジル・レアル 為替推移】

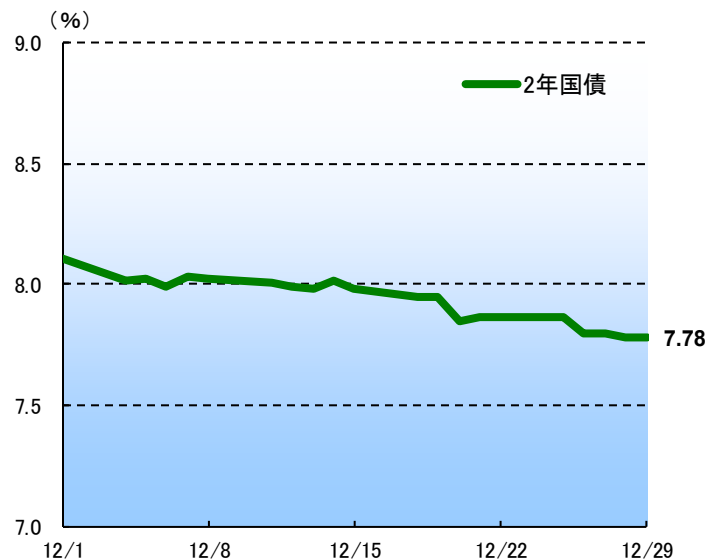
(2017年12月1日～2017年12月29日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2017年12月1日～2017年12月29日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>